

No.	特に良いと思う点	
1 内容	タイトル	開設当初には家族や入居予定者に理解や共同感覚を養うように入念な準備を行い、現在は地域のセーフティネットの役割も果たしています
	内容	当事業所では、近年開設したユニットは5年前から入居相談があった方々を受け入れ、家族にグループホームのイメージを持ってもらうために何回も会合を持ったこともあり、1年前からは一緒に生活するというイメージを持つてもらうために、入居予定者と職員で月1回食事会を開くといった入念な準備を整えて入居を行いました。今はユニットに空きができた場合には、家庭の事情で家族支援が困難なケース等の緊急度の高い方を優先して入居できるようにしており、地域でのセーフティネットの役割も果たすように支援を行っています。
2 内容	タイトル	利用者の生活の拠点であるグループホームでの暮らしを快適に過ごすことができるよう、一人ひとりの要望にはきめ細かく対応しています
	内容	ユニットを利用者の拠点としていわば自宅であるという考えのもとに、事業運営を行っています。各ユニットでの人数は少数であるとはいっても、共同生活であるため最低限のルールは設けていますが、利用者一人ひとりの希望する生活スタイルを尊重して、自分の家として快適に暮らすことができるよう支援しています。図書館に通うことが日課となっている利用者のために休館日を掲示したり、通院同行やヘアカットなど美容室への同行など本人の要望にできるだけ対応しながら、利用者が自身の生活の基盤を作り上げるためのサポートを職員は担っています。
3 内容	タイトル	利用者が安定して毎日を過ごすことができるよう、一日の活動状況を把握し、関係機関との連携を深めています
	内容	現在入居している利用者は、みらいホームで安定した生活を送っています。ただし、利用者にとって重要な事柄の変化や困った事柄に遭遇した際にはたちまち不安定になってしまうこともあります。利用者の様子に少しでも変化があった場合には直ちに連絡をして、日中の様子を確認しています。さらに、利用者の健康管理は法人内の看護師と相談しながら取り組んでいます。今後は入居者が余暇支援として行動援護や移動支援を利用することも視野に入れ、関係機関と連携を深めながら利用者の充実した生活を確保することができるよう取り組んでいます。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1 内容	タイトル	信頼関係の醸成相互の連絡の構築を図る上でも、ユニット間の職員の情報共有をより強固にする仕組みづくりが期待されます
	内容	当事業所は5つのユニットで構成されていますが、市内に点在しユニット間の距離が遠く相互のコミュニケーションが図りにくい現状があります。職員からは、職員間の面識が乏しいためコミュニケーションを図りたいという意見もあります。とはいっても、職員構成上でなかなか全員が集まり会議などをするとといったことは難しい状況にあります。信頼関係の醸成、相互の連絡の構築を図る上でも職員間の情報共有をより強固にする仕組みづくりの構築が期待されます。
2 内容	タイトル	支援の方向性は一致していますので、それを軸に何をしなければいけないかを職員一人ひとりが理解できる仕組みづくりの構築が期待されます
	内容	当事業所はサービス提供の考え方として「入居者を受容し、生活を取り巻く様々な状況に応じていきたい」ということを示しています。この支援の方向性は、職員全員に浸透しています。しかし少人数や一人での勤務も多く、具体的な支援方法を先輩職員から学ぶ機会が少ない現状があります。生活の場ですので提供するサービスは一元化されたものではありませんが、職員からも新人のために現場のことがわかるような研修カリキュラムがほしいといった声もありますので、サービス提供の考え方を形で示す取り組みが期待されます。
3 内容	タイトル	生活の場だからこそ、その防災に対する備えをユニットごとに、より一層詳細に計画することが期待されます
	内容	事業所は、5つのユニットが離れた場所に点在しています。避難訓練の実施や法人では共同で防災訓練や安全運動講習が実施されています。災害時の備蓄品は、毛布やトイレットペーパーなどは各ユニットに完備されていますが、食料や飲料水については完備しているユニットとされていないユニットもあるようです。法人支援は強固たるものですが、離れた場所に点在するユニットでの備えは必要不可欠であると思われます。さらなる、災害対策強化が期待されます。